

千波中学校区小中一貫教育

水戸市立 千波小学校・千波中学校

<小中一貫教育目標>

心豊かに、たくましく、自立する児童生徒の育成

<小学校・中学校・家庭・地域で「9年間で育てたい子どもの姿」を共有>

<自ら学ぶ>

- 基本的・基礎的な学力の定着
- 自分の考えをもち、はっきり説明できる

<思いやりの心をもつ>

- 明るく元気に生活する児童生徒
- 自他の生命を尊重する心
- 自己肯定感・有用感の高い児童生徒

<進んで運動する>

- 9年間を見通した計画的な体力づくり
- 運動好きな子ども

<郷土を愛する>

- あいさつが進んでできる児童生徒
- 郷土学習に進んで取り組む児童生徒

- 「施設分離型小中一貫教育推進校」とは、敷地や校舎が離れている小中学校が共通の目指す児童生徒像を設定し、共通理解のもとに学校を運営します。

自ら学ぶ

- 小中学校の職員の共通理解のもと、小中が協力して「9年間を通しての学力向上」を目指した学習指導の充実を図る。
- 教科の専門性を生かした授業の在り方を工夫し、授業の改善を図る。
- 小中学校の教員の交流を図り、学習内容を充実させることで授業の質を高める。



思いやりの心をもつ

- 小中学校共通で「朝のあいさつ運動」を行い、明るく元気な学校生活を目指す。
- 小中学校の職員が、互いに学校を訪問し、児童生徒の生活の様子を見守ったり、学習を支援したりする。
- ちょぼら等のボランティア活動等の工夫した特別活動を行い相手の気持ちを考えて行動できる児童生徒の育成を行う。



進んで運動する

- 小中学校で共通の「正しい姿勢づくり（立腰タイム）」を取り入れるなど、9年間を見通した計画的な体力づくりに取り組む。
- 中学校の職員（体育・部活動顧問等）や陸上部の生徒が小学校へ出向き、専門的な立場から陸上等の指導を行う。
- 小学校6年生を対象とした部活動見学等の機会を設け、中学校生活に対する意識を高める。



郷土を愛す

- 「水戸市歌」「水戸郷土かるた」「千波かるた」、社会副読本「水戸」等を活用し、学校や身近な地域の歴史・文化等に興味をもつようにする。
- 社会科の時間や水戸まごころタイム（総合的な学習の時間）において、水戸に関する調べ学習を行い、郷土に関する理解を深める。
- 「梅まつりおもてなし隊」「千波湖クリーン作戦」や「市民運動会」「千波縁日」等の地域の活動への参加を通して、郷土に対する理解と愛情を育てる。



推進組織

千波中学校区コミュニティスクール

地域に笑顔届ける部会

＜主な活動内容＞

- 地域行事・センター事業協力

市民運動会

千波縁日

ふれあいまつり

星を見る会

三世代交流ある会

地域ゴミ拾い

地域・学校連携部会

＜主な活動内容＞

- 学校支援ボランティア

昔の道具

千波かるた

昔遊び

奉仕作業

- 学校行事

- 部活動支援

地域に笑顔届ける部会

＜主な活動内容＞

- 地域あいさつ運動

地域にあいさつを広める運動

ながらあいさつ運動

缶バッジ作成、配付

- 子供の安全を守る家との連携

守る家へのお礼の手紙